

企業理念・100億宣言に向けた経営者メッセージ



代表取締役
高田 一

お客様の夢を形に、形を現実に。全ての人々に信頼される存在でありたい。

プラスチック押出成形技術は全ての人々の身近な製品を支えています。業務用冷蔵庫など弱電、電気、自動車、建築、等々。業界トップ水準の100分の1mm精度を守り高める押出成形技術×二次加工までの一貫生産。これまで出来なかったことを当社が形にすることで、人々の暮らしが豊かになっていく。そのことを実感しつつ、これまで裏方の存在であった当社が人々の前に出ていくことで、より一層、社会に地域に責任を持てる存在となりたい。その想いをここに宣言します。

売上高100億円実現の目標と課題

実現目標

事業承継が完了した2045年の売上高達成に向け、年率12%程度の成長を目指す。そのために以下三条件を満たし続ける。

1. 業界トップクラスの押出成形精度×複雑形状対応を維持
2. 競合に先駆けて高性能素材・再生素材に対応
3. 高付加価値を志向するお客様と共に歩む

課題

- 1.生産力：高精度押出成形ライン＆高難度二次加工ライン増強
量産能力の拡大
- 2.開発力：開発試作ラインの刷新×開発人材の育成
- 3.営業力：商社とのパートナーシップ強化×自社マーケティング人材育成

売上高100億円実現に向けた具体的措置

目指す成長手段

- ①ハード整備：工場・倉庫の拡大×新鋭設備導入の段階的実行
- ②素材開発：難加工素材重点拡大によるノウハウ蓄積
再生素材加工技術への率先取組み
- ③人材獲得：地域の優秀な人材採用に向けた体制・戦略構築
（開発人材・マーケティング人材）
- ④パートナーシップ：商社×外注＋金融機関×支援機関のチーム力UP
- ⑤次世代経営者育成：事業＆ビジョンの後継者への計画的承継

実施体制

- ①第一段階：生産力2倍増工場の整備
※第一段階完成後、生産力3倍増第二段階計画
- ②商社・取引先との共同開発体制の再構築
- ③支援機関との連携による人事制度整備・採用力強化
- ④金融機関・支援機関とのチームによる経営管理体制確立
- ⑤事業承継計画作成＋支援機関チームとの連携による育成
（メイン取引先で修業中の後継者の当社入社を機に）

相互ビニール化成株式会社 本社

○本社所在地：福井県鯖江市平井町 61-5

○事業概要：プラスチック製品製造業
プラスチック押出成形品
（弱電部品・自動車部品・電材
関連・建材関連）

○常時使用する従業員：53名
（2025年9月時点）

○現在の売上高：11億円
（2025年9月期）

○法人番号：6210001013016

○Web：<https://www.so-go-vinyl.co.jp>

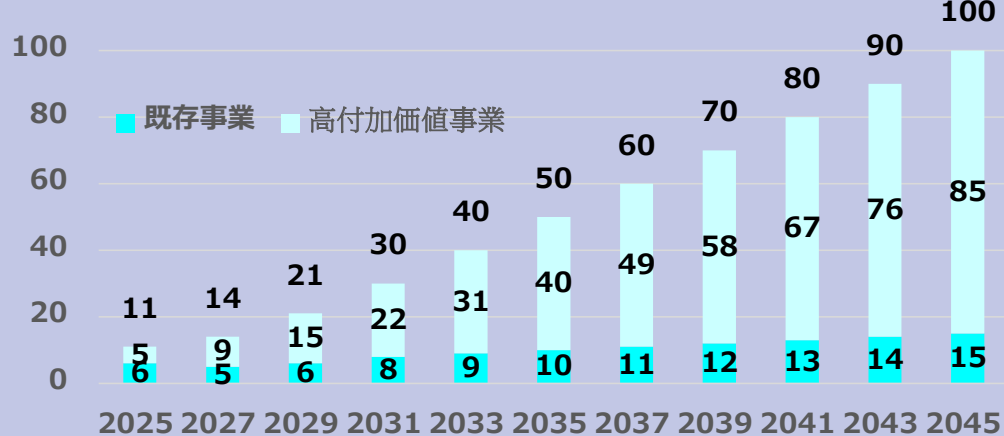
“プラスチック押出成形部品メーカー”ブランド確立による売上高100億円実現

「プラスチック押出成形部品メーカー」としての自立経営による高付加価値・高難度市場の開拓

あらゆる業界、様々な製品に必要とされるプラスチック押出成形部品。そのサプライチェーンにおいて当社は押出成形一次加工と二次加工を一貫して担うことでお客様の信頼を得てきました。技術力・開発力を更に磨き「あらゆる素材をあらゆる形に」の実現を目指し、加工業者の立場から進出し、オンリーワンの「押出成形部品メーカー」へと成長します。

各産業の高度化に伴い、①耐摩耗・耐熱・耐候・耐薬品・絶縁等々の機能 × ②それを実現する難加工素材の活用 × ③加工精度が各業界共通で求められています。当社は各業界トップ層から求められる「高付加価値押出成形部品」の開発×量産能力を高め、汎用品から大きくシフトし、業界サプライチェーンの枠を超えてその高付加価値押出成形部品を提供する、自立した“メーカー”になります。

売上高



100億
達成

本社工場増築・設備増強・ライン再編成（独自の押出成形技術の開発力・生産力強化）

生産キャパシティの拡大

押出成形ライン再編増強
二次加工ライン再編増強
⇒生産キャパシティ倍増

高精度・高難度化加速

ライン再編による精度向上
研究開発部門強化による
高難度化の促進

開発試作力の強化

開発試作ライン再編増強
開発専任体制確立
DX化推進

拡大する各業界の高付加価値ニーズをターゲット

進展する産業の高度化

自動車EV化、半導体需要拡大、インフラ産業耐災害対策、冷凍冷蔵需要拡大、等々

押出成形部品高度化要求

強度・耐衝撃・耐摩耗
絶縁・耐熱・難燃・熱伝導
耐薬品・耐候・寸法安定…

高難度素材の需要拡大

ポリカーボネート、ポリアセタール等難加工素材 ⇒ 環境志向リサイクル素材へ